



2022年5月20日

各 位

会社名 株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド
代表者名 代表取締役社長 兼 CEO 瓜 生 憲
(コード番号 4436 東証グロース)
問合せ先 取締役副社長 兼 CFO 高田 隆太郎
(TEL : 03-6867-1531)

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会（任意設置の指名、報酬委員会を含む）の実効性向上のため、その課題を抽出し、改善状況を継続して確認することを目的に、2020年3月期より、取締役会の実効性に関する分析・評価を定期的に行う取り組みを行っております。今般、2022年3月期を対象期間に実施しましたので、下記のとおり、その結果の概要をお知らせいたします。

記

1. 分析・評価の方法

全ての取締役（監査等委員を含みます。）において下記要領にてアンケートによる自己評価を実施し、その結果を基に取締役会において議論いたしました。

<アンケートの評価項目及び回答方法>

評価対象期間： 2022年3月期

回答方法： 各評価項目につき4段階評価、及びフリーコメント

- 評価項目：
- ① 取締役会の構成に関する事項（規模、構成等に係る4項目）
 - ② 取締役会の運営に関する事項（頻度、資料、審議時間等に係る8項目）
 - ③ 取締役会の議題に関する事項（議題の選定、内容等に係る12項目）
 - ④ 取締役会を支える体制に関する事項
(情報共有・連携体制、トレーニング等に係る9項目)
 - ⑤ デジタルトランスフォーメーション（DX）化に関する事項
(DX推進の枠組み及び事業への落とし込み等に係る8項目)

2. 分析・評価結果の概要等

上記に基づく分析・評価の結果、当社取締役会は、業務執行機関及び監督機関として有効に機能しており、取締役会の実効性は確保されていることを確認しました。

また、昨年度、一昨年度と、中長期的な課題として認識した取締役会の多様性や知識・経験のバランスに鑑みた女性役員や監査等委員でない社外取締役の起用については、来る6月の当社定時株主総会での承認を前提に、前 TDK 株式会社取締役会長の澄田誠氏及び元テレビ東京キャスターの槇徳子氏の社外取締役就任が予定されており、多様性や社外・非業務執行取締役の増強については強化が図られる見込みではありますが、全体バランスでの最適化を念頭に、一層の強化について継続的検討事項とすることを確認いたしました。

一方で、昨年度に続き、デジタル化の加速や当社グループの急速な事業の拡大及び多様化を踏まえ、リスク管理を軸としたガバナンス体制の維持強化及び事業機会を確保する機動性の担保、並びに中長期的

成長戦略等の審議強化の重要性に言及する意見も得られました。当社取締役会は、こうした意見を踏まえ、デジタルトランスフォーメーションに対する取り組みを推進するとともに、取締役会から経営陣への適切な委任による議題の設定並びに効率的審議を推進するための取締役会の運営の在り方の検討は有効であるとし、これらを今期の課題として確認いたしました。

当社の取締役会は、上記結果を踏まえ、今後も取締役会の実効性向上に努め、当社グループの持続的な企業価値向上に資するよう取り組んでまいります。

以 上